写真文化首都

しがしかわ 写真の町

議会だより

キャンモアスキー場に新設されたペアリフト

第４回定例会……２～３
松岡町長、町長選挙立候補表明……４
第５回臨時会・第６回臨時会を開催……４～６
一般質問集計表……６
意見書……７
ここが聞きたい！一般質問に４議員が登壇……８～11
委員会報告……12～15
議案審議結果……16～17
議会日誌……18

No.180
平成３１年２月１日発行
発行：東川町議会
編集：議会報編集特別委員会
〒071-1492 北海道上川郡東川町東町１丁目
☎0166-82-2111

第４回　定例会を開催

- 第４回定例会を、平成30年12月13日に開催しました。
- ４名の議員が一般質問をしました。
- 平成30年度の一般会計の補正予算案・各種条例案・被表彰者推薦・報告などについて審議し、原案可決または、承認済・報告済としました。
- １件の意見書について、採択しました。

第４回定例会

一般会計補正　第８号

歳入、歳出をそれぞれ１億８６９１万円減額し総額は87億５５１６万円で、主なものは次の通りです。

歳入

①地方交付税
（▲５００万円）
特別交付税の文化ギャラリー改修費の減額に伴い１／２を減額するものです。

②国庫支出金
（▲４５５１万円）
国庫負担金は、児童手当対象者の増加に伴う１０７万円増額です。
社会資本整備総合交付金は、交付金対象の道路事業、都市再生整備計画事業及び地域住宅計画事業に係る事業費の減額と予算整理などにより４７０９万円減額です。

③道支出金（４１３万円）
地域づくり総合交付金は、事業内示により６２２万円増額です。
町有林造成事業補助金は、２４４万円減額です。

④町債
（▲１億４０７９万円）
公営住宅、公園、道路事業等の事業精査、辺地債事業の見送りなどによる起債額変更と、臨時財政対策債は、普通交付税の確定による増額で、町債合計で減額です。

歳出

①二酸化炭素排出抑制対策事業（▲２８９万円）
公共施設ＬＥＤ化等の支払い時期が３月からとなり、リース料が確定しため減額です。

②社会福祉対策事業
（７６１万円）
冬の生活支援支給事業の福祉灯油で、対象は、非課税世帯の高齢者、障害者、ひとり親世帯などで、オール電化公営住宅居住世帯は１万５０００円を49世帯に、それ以外の対象世帯に１万円を約６８０世帯に支給するものです。

③児童手当支給事業
（１６０万円）
対象者の増加に伴う増額です。

④第14飲料水供給施設整備事業（▲２０１万円）
執行残の減額です。

⑤第34飲料水供給施設整備事業
（▲１１００万円）
辺地債配分の減に伴い事業を見送り減額です。

> **Q**（鶴間松彦議員）
> ５年に一度の全町地下水水質調査は。
>
> **A**（長原副町長）
> 平成23年に第１回目29年から第２回目を概ね年６００戸個別検査を行っています。

⑥いきいき農園整備事業
（▲２２８万円）
執行残の減額です。

⑦町有林造成事業
（▲５１５万円）
執行残の減額です。

⑧文化ギャラリー改修事業（▲１０１６万円）
抜本的な屋根対策が必要となり展示壁等の工事を見送り減額です。

⑨西６号道路改良・東忠別地区道路新設事業
（▲５６１０万円）
次年度に見送り減額です。

⑩東部地区公園道路整備・西部地区道路新設事業（▲４５１６万円）
執行残の減額です。

⑪公的賃貸住宅維持管理事業（３２０万円）
修繕料が不足する見込みのため増額です。

⑫中山湧水池ふれあい公園整備事業
（▲８００万円）
次年度に見送り減額です。

⑬橋梁長寿命化修繕事業
（▲５８２１万円）
永楽橋、三国橋、勇駒別橋を見送り減額です。

⑭地域住宅計画事業
（▲２８６万円）
執行残の減額です。

定例会

⑮中学校学校給食事業
（120万円）
設置当初より使用しているスライサーの取替えが必要のため増額です。

⑯幼児センター管理事業
（▲680万円）
実績見込み分を精査して減額です。

⑰財政調整基金事業
（1316万円）
今回の補正で財源を整理した結果余剰分を積立てます。

条例の一部改正

①老人保健センター設置に関する条例

Q（鶴間松彦議員）
シニアクラブに入っていない高齢者利用料金の免除は。

A（町長）
シニアクラブの皆さんと協議しながら利用促進に繋がるか、需要程度を把握して検討します。

②キトウシ森林公園家族旅行村条例

③公園条例

Q（鶴間松彦議員）
町外の方のパークゴルフ料金が、土日合わせて1本になり、値上げして、利用者減少の懸念は。

A（町長）
両方のパークゴルフ場で1000万円を超える赤字で、単なるパークゴルフ場の利用だけでなく、キトウシの温泉地、ケビン、その他の施設との連携でサービスの強化、充実に努めながら努力をしていきたい。

親水河川公園パークゴルフ場

④「写真の町」ひがしかわ株主条例

⑤特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業に係る利用者負担に関する条例

⑥幼児センター条例

⑦放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例

⑧留守家庭学童保育料徴収条例

戸籍に係る電子情報処理組織の事務の委託

戸籍サーバーは、役場に管理、保管されていましたが、新システムは、共同利用型戸籍システムのサーバーを利用し、北海道自治体情報システム協議会内で管理、保管されます。

Q（藤原啓子議員）
①現サーバーの処理は。
②サーバーはリースか。

A（定住促進課長）
①内容等を全てクリアして処分します。
②5年リースです。

Q（鶴間松彦議員）
システムの経費は。

A（定住促進課長）
30年度754万円で31年度が1172万円で418万円増加見込みです。

指定管理者の指定

旭岳温泉地区飲雑用水施設
指定管理者団体名
湧駒別共同飲雑用水利用組合
組合長　得能　真一

土地取得

場所　東7号北5線～北7線間の山林・原野
面積　183ha
金額　6500万円

被表彰者の推薦

自治功労表彰（消防功労）

勤続30年
林　克政　氏
馬場　伸二　氏

勤続25年
畑中　貴樹　氏

勤続20年
中田　博之　氏

勤続15年
宮﨑　充嗣　氏

勤続10年
藤川　晴貴　氏
佐竹　国広　氏
堀部　祥広　氏

松岡町長
町長選挙立候補表明

6月に大澤議員から、小職の去就についてのご質問をいただきました。12月の議会で態度を明確にしますと答弁をさせていただいたところです。

本町では新たな文化資源の利活用を核とした元気づくりへ第一歩がスタートしています。

任期満了のあり方について、独断専行ではなく、多くの方々の賛否両論に耳を傾け、堅調独断で終えることの大切さを自ら悟り、次期にしっかりと引き継ぐことができるよう基盤強化に尽力することが今私たちに与えられている責任であると認識するに至りました。

今任期を全うするとともに、当初の考えを翻意し、引き続き次期の選挙で住民各位の信任が得られるように取り組みたいと考えています。

深いご理解とご支援をお願い申し上げます。

第5回臨時会

（10月5日）

一般会計補正　第6号

（3億203万円）

総額88億7600万円

歳出

①産地パワーアップ

（2500万円）

地域一丸で取り組む産地に、農業機械リースや、集出荷施設の整備経費などを、支援する制度です。

ブロッコリーの選果・氷詰出荷は、製氷委託料金が高く、優品以下は廃棄していました。

製氷機などリース導入します。

全体は5400万円で、2分の1の2500万円（税抜）が道補助金として交付されます。

②農村整備管理

（103万円）

道々旭川大雪山層雲峡線西6・7号の中間から西7号道路まで、旭川製麺（株）を挟む区間の用水路に、コンクリート蓋の設置工事負担金です。

東和土地改良区が実施する事業を、土地改良区と町が、2分の1ずつ負担します。

昨年6月、近くの福祉施設の高齢者が、この用水に転落し、西7号道路西の集水枡まで80mほど流され、通りかかったベトナムの留学生に発見されて救助されました。

安全対策のための事業費は569万円で、国・道各30%補助、地元分は残40%と事務費の205万円で、2分の1を町が負担します。

11月末に完了です。

③中体連全国大会など

（170万円）

中学校吹奏楽部の東日本大会派遣は、9月定例第5号で、150万円を補正しました。

経費の大幅増額で、生徒34名、指導者3名の補助額が287万円の見込みになり、今後その他の派遣を含め、不足額を追加します。

（東日本大会は10月13日仙台市で開催されました。）

Q（藤原啓子議員）

1人の費用、保護者負担はいくらですか。

美瑛中野球部の全国大会出場で、美瑛町が600万円全額支出しています。

小遣いも必要です。

町の全額負担は、考えませんか。

A（学校教育課長）

1人8万1千数百円になり、75%補助で、負担は2万円強です。

交付基準で、どの大会も同じ75%です。

④災害復旧費

（340万円）

河川災害は、幌倉沼川3ヵ所1億830万円、ポン倉沼川1ヵ所1000万円、北2線川4ヵ所8600万円、忠別川1ヵ所5150万円となり、

臨時会

河川災害復旧事業合計は、2億5650万円です。

道路災害は、西9号道路260万円、南の沢道路1080万円、ポンクラヌマナイ一号道路440万円の3ヵ所で、780万円です。

全て補助災害復旧事業で、国の補助金80％を見込み、残20％分を地方債借入れ予定です。

地方債は翌年度以降、普通交付税で95％補填されるため、事業費ほぼ99％は財源措置されます。

Q（能登暢吉議員）

今通行止めの西11号と、その河川は、どうなりますか。

A（都市建設課長）

西11号万年橋付近は、北海道が、災害査定を受け、2月頃の工事見込みと聞いています。

道路路肩に根固めブロックを置いたままなので、安全対策で通行止めにしています。

Q（藤倉智恵子議員）

通行止めの標識がうやむやな感じです。

A（都市建設課長）

町で通行止めの看板を掲げていますが、情報不足などは、見直して適正に対処します。

西11号万年橋付近

第6回臨時会

（11月26日）

条例改正

人事院は8月10日、国家公務員一般職の今年度月例給を0・16％、655円を引上げ、勤勉手当を0・05ヵ月引き上げるなど勧告しました。

国の人事院勧告に準じて、給与等関連条例の改正をします。

実施時期は、月例給は平成30年4月1日に遡り、ボーナスは、法律の公布日で、平成30年度12月期支給分からです。

宿日直手当、住居手当等の検討は、今後改定内容と他自治体の状況より検討します。

次の条例を一括して審議しました。

①職員給与に関する条例

②議員報酬・費用弁償に関する条例

③特別職職員で常勤のものの給与・旅費支給条例

一般会計補正 第7号

（6607万円）

総額89億4207万円

歳出

①議員期末手当（13万円）

0・05月分増額です。

②職員人件費

（330万円）

人勧分170万円、管理職手当120万円、時間外手当（不足分）200万円、合計467万円で、退職者などの減額と相殺しました。

③旅費（200万円）

町が各種メディアで露出する機会が増え、道外自治体・企業との連携などで、出張が増加し、旅費が不足しています。

④中学給食調理場暖房ボイラー修繕（130万円）

平成8年に整備した暖房ボイラーが、老朽化により故障しました。

⑤山林取得

（6500万円）

環境や国土保全を目的とし、（株）廣済堂（こ

歳入

普通交付税は、用水路蓋設置・中学校吹奏楽部派遣・災害復旧事業で、財源手当の端数分を一般財源で手当し、278万円を計上します。

「地方債補正」は、災害復旧債のうち、補助災害復旧事業について、限度額を増額変更します。

臨時会

うさいどう）所有の山林を取得します。

１８３・５ヘクタール、立木価値分含めて、６５００万円購入します。

財源は、国土保全対策事業として、地域活性化事業債を（充当率90％）５８５０万円を充て、起債充当残10％分には、ひがしかわ株主制度の水と環境を守る森づくり事業から６５０万円を充てるよう計上しています。

仮契約を締結し、12月定例議会で契約を議決し、年内所有権移転まで進める考えです。

地方債の充当率とは事業の中で、地方債（起債）できる割合で、残りは一般財源になります。

下水道会計補正　2号

（５５５万円）

総額２億２０７５万円。

人勧による人件費増は57万円ですが、管理費全体は、45万円減額です。

工事費は、公設枡設置増額分と西町９丁目宅造で、６００万円増額です。

歳入では、国庫補助金82万円減、繰越金７３７万円増で１０３７万円です。

一般会計からの繰入金は２６９万円減で、３６３６万円です。

診療所会計　2号

（２７５万円）

総額４億３９７９万円。

人勧による増と、育休・超勤手当の減などで、給料97万円、職員手当２２６万円の減額です。

育休中の保健師の代替臨職雇用、２６２万円増額、価格高騰による燃料費20万円を増額です。

入院・外来患者増に伴い注射・処置薬・寝具で３１５万円増額します。

診療収入も、２７５万円増で、計２億１７５７万円です。

一般質問集計表

現議員12名の一般質問の回数と項目を集計しました。

議会報166号から180号まで、議席順に一覧にしました。

議長は、職務執行中は一般質問できません。

議席	議員名	質問回数・項目		備考
1	由川　英二	２回	２項目	
2	薦田　敏次	５回	６項目	
3	鶴間　松彦	15回	32項目	
4	藤倉　智恵子	７回	13項目	
5	藤原　啓子	９回	17項目	
6	安原　芳博	４回	７項目	
7	堀井　義鋪	６回	７項目	
8	能登　暢吉	９回	12項目	
9	畑中　雅晴	５回	12項目	
10	正満　正義	３回	５項目	
11	大澤　　聰	１回	３項目	副議長
12	高橋　昭典	０回	０項目	議　長

議会報編集特別委員会

今回の１８０号で、現在の編集委員会メンバーでの発行は、最後となります。

町民のみなさまには、「議会だより」をご愛読いただきありがとうございました。

写真・資料の提供、ご意見をお寄せいただいた方々にも、あらためて御礼申し上げます。

【発行責任者】
議　長　高橋昭典

【議会報編集特別委員会】
委員長　藤原啓子
副委員長　薦田敏次
委　員　藤倉智恵子
委　員　安原芳博
委　員　能登暢吉
委　員　畑中雅晴

意見書

意見書を採択し、議長名で衆・参両議院議長、内閣総理大臣及び関係大臣へ送付しました。

日米物品貿易協定交渉に関する意見書について

北海道農業は、専業的な農家などが主体となり、重要品目である米・麦・大豆、てん菜、馬鈴しょ、牛肉・豚肉、乳製品などを中心として、安全で安心な農畜産物の安定供給を図っている。

加えて、地域の製粉工場、製糖工場やでん粉工場、乳製品工場などと密接な関係のもと、地域経済・社会を支える基幹産業として重要な役割を果たしている。

しかし、農産物輸出大国との地域連携交渉が北海道農業に大きな影響を及ぼしており、日豪ＥＰＡを上回るＴＰＰ11、それを超える日ＥＵ・ＥＰＡへと、自由化ドミノのように農産物の市場開放が次々に進められている。

多くの国民や農業者の懸念事項が払拭されないまま、日ＥＵ・ＥＰＡ協定も来年２月に発効される見通しとなっている。

こうした中、米国政府が検討していた輸入自動車25％の追加関税を見送る代償として、新たに二国間による物品貿易協定交渉の開始に合意したことは、一層の農畜産物の市場開放へと繋がる恐れがある。

重要農畜産物の多くを抱える北海道は農業への甚大な影響を加え、取り巻く地域経済にも影響が危惧されるため、地域住民や農業関係者などからは強い懸念の声があがっている。

よって、国は米国との物品貿易協定交渉に当たっては、次の事項について十分配慮するよう強く要望する。

記

日米物品貿易協定交渉は、ＴＰＰ水準を交渉のベースとしているが、米国政府の強硬姿勢によって、更なる高い水準で農畜産物関税の削減・撤廃等を求められる恐れがあることから、毅然とした姿勢を貫き、農畜産物関税協議は行なわないこと。

以上

●●●●●●●●議会を傍聴しませんか●●●●●●●●

次回は3月11日～18日の予定です。

町議会では、町民の暮らしに関する重要な事柄が審議されています。

議場は、役場3階、傍聴席は30席あります。団体の傍聴は、資料の準備もありますので、事前にお知らせください。

議会事務局
82－2111

一般質問 ここが聞きたい

（４議員が登壇）

問 起業化支援の見直しを
答 費用対効果を検証し充実

能登　暢吉

質問

平成15年の条例に基づき「東川町起業化支援補助金」として、新規に開業、チャレンジする人に向け様々な支援策を行っています。

これにより、空き店舗の活用など、移住促進にも効果があり、町の活性化に繋がっています。

支援の内容は、土地、家屋、設備など固定資産の取得及び改修などに要した費用の３分の１以内を補助し、一事業者１００万円を上限とすることを条件としています。

開業後５年以内に廃業すると補助金を返還しなければなりません。

今年度で16年が経過し、１０１件の開業と８９０７万円の支援を行っています。

過去５年以内では、廃業５件、一時休業１件、返還金の回収が困難な事業者もあります。

また営業実態が見えにくいとの声も出ています。

このことから、費用対効果について、あと一点は支援策の条件を見直す時期に来ていると思いますが、考えをお伺いします。

町長

産業振興支援条例の規定に基づき「企業などの立地及び起業化の促進及び投資促進を行い、本町産業の活力向上を図る」ことを目的に実施しています。

直接効果としては、住民税や法人住民税、固定資産税で１億３３００万円、移住者が１３０人で普通交付税一人当たりの需要額20万円換算されます。

普通交付税に税収の４分の１を加算したものが町の実質税収などとなり、総額で１億６３００万円になります。

支援費用に対しておよそ１・８倍の効果があったと算定できます。

間接的効果としては、入込客数に相乗して消費が純増し町内の経済にも大きく貢献をしています。

支援策の見直しについては、１０１件中15件が廃業または休業になっていますが、次年度には国などでも本町に類似している施策を検討中です。

効果を検証しながら見直し、充実していくことが良いと考えています。

再質問

改善がなければ廃業や空き店舗など今後も増加が見込まれるのではないかと懸念しています。

起業された事業者の営業実態が見えづらいなど、実状を把握し困難な状況におちいる前に指導などの工夫が必要ではないかと思います。

支援を続けていくことで、いずれは限界を超える時期がきます。

限界の件数はどれくらいだと考えていますか。

町長

一定の条件を満たさない時のペナルティを設けています。

返還金の期限は５年に定めています。

現在は、１３０万円ぐらいの返還が残っています。引き続き返還を求めていきます。

どこまでが限界なのかについて申し上げるのは難しいとと思っています。

町としてはできるだけ長く素晴らしい事業を展開して頂くように期待をしています。

東川歯科クリニック

ペンションととり

一般質問

問 (道の駅)道草館の移設の考えは
答 機が熟した時に再検討

安原　芳博

（一問一答方式）

質問　道の駅と直売所が併設している施設が理想的と考えますが、道草館の移設の考えはありますか。

町長　道の駅の移設に関しては、商工会から2回にわたり提言書をいただいています。

森の町構想と（新）道の駅と森のログショップモールでお店を集約する提言です。

道の駅と直売所の併設については、周辺が狭く厳しいところです。

せんとぴゅあ前の芝生でマーケットが開かれるのが良いと考えます。

質問　将来、モンベルに移設をしていただき、その施設を朝市方式なり直売所とし（ポスレジ・バーコード）を用意すれば繁忙期に人がつかなくても、商品を納入していただければ良いと思いますがいかがですか。

町長　モンベルの移設については現時点では難しいと思いますが、町が適切な箇所に施設を作ってお貸しすれば、合意が得られる可能性はあります。

質問　今後の東川町の活性化の抱負（決意）を伺います。

町長　町づくりを進めていく上で非常に大切なのは、交流人口を増やし、東川に来ていただき、中心市街地・第1次産業・第2次産業がより一層の元気が出る町として、多くの人達が来ていただける町として成熟していく事です。

道草館

問 不登校などの現状は
答 小中学校で若干名

質問　小学生・中学生の中で不登校の子どもは何名おられますか。

起立性調節障害の生徒はどうですか。

教育長　30日以上欠席している子どもは、小学生で3名でうち1名は今登校できるようになり、実質2名です。

中学生では、9名で4名は病弱等特別支援対象の生徒です。

3名は診断は出ていませんが身体に課題のある生徒です。

起立性調節障害の生徒は1名いましたが現時点では問題なく登校できています。

一般的な定義では、立ち眩み・湿疹・朝起き不良・倦怠感・動機頭痛などの症状を伴い、思春期によく現れる症状で自律神経機能不全というような呼び方をしています。

中学生の思春期に一時発症していたと推測しています。

一般質問

問 奨学金の拡大を
答 検討、勘案します

藤原　啓子

質問

4年制大学へ進学する学生に、成績要件を付けて奨学金を40万円支給しています。

専門学校・短大の進学は、助成しません。

奨学金に、成績要件や進学校で差を付けず、進学する学生全員の支援をしませんか。

教育長

町の大学奨学助成金は、(株)ホクリクの企業版ふるさと納税が原資で、納税者の意向を尊重し、通常の高校生が取得できる成績基準3・3以上（5段階評価）としています。

該当しない場合も、審議会で採択できます。

短大・専門学校などの助成制度は、今後の財政需要や、企業版ふるさと納税のPRなど財源確保を図り、検討します。

再質問

5段階評価の3は、苦手教科では取りにくいようです。

不登校など長期欠席だと、1や2がつきます。

高校を卒業せず、高卒認定試験（旧大検）を受けての進学もあります。

成績要件を見て、申請しない懸念があります。

教育長

奨学金の案内文に「特殊事情については勘案する」と明記します。

問 放課後子ども教室は
答 後期は、適正に運営

質問

前期は、30人募集に45人応募があり、指導者が確保できず、お断りしています。

学童・子ども教室・少年団などで、仲間がいなくて、子どもが可哀相だった、と募集に漏れた保護者が言っていました。

後期の状況を伺います。

教育長

後期は、定員30名に対し、20名の応募者全員が参加しています。

加入を1～2年生に引き下げる少年団も増え、少年団加入の児童が増えています。

学習塾・町外のスイミングスクール・スポーツクラブに加入など、子どもたちの放課後の過ごし方が多様化しています。

問 発電機購入に、助成を
答 防災全体で検討

質問

胆振東部地震で、大規模な停電災害を体験し、災害対策として、発電機やハイブリッド車に、関心が高まっています。

大容量の蓄電池も、出回っています。

発電を自助努力で確保しようという町民や事業主に、防災支援を考えませんか。

町長

公共施設の殆どに、非常用発電機を設置していますが、対応が不十分な施設もあり、必要な整備を検討中です。

地域コミュニティ推進会議などの意向も踏まえ、防災対策全般について検討します。

小型発電機

一般質問

問 防災計画見直しは
答 計画見直しを準備中

鶴間　松彦

（一問一答方式）

質問

9月6日の胆振東部地震によるブラックアウト（全戸停電）により、町内でも給水など日常生活に被害がありました。

個人宅は給水できず、公的施設などで給水や食糧配布が行われました。

①せんとぴゅあⅡでは、すぐに自家発電装置が止まり給水できなくなりました。

大型発電機に取り換えるべきです。

②高齢者世帯などに社協と福祉課で、水・食糧を配布しました。

役場前給水支援

④農協スタンドで、自家発電装置を稼働させ、給油できて、大変助かりました。

他のスタンドでも給油できるよう、協議してはいかがですか。

⑤想定外の災害も考えられます。

町の防災計画を見直す必要があると思いますが。

町長

①せんとぴゅあⅡに、大型発電機を検討中です。

②保健福祉課・社協・保健師が、高齢世帯や単身世帯で「万が一」の時、支援が必要という方を把握しています。

それを基に訪問し、水と食糧を届けました。

状況と今後の対応について伺います。

③個人宅で自家発電機が効果を発揮したそうです。小型の安価なものでも活用できます。

希望者に補助をして、自家用発電機の普及を促進すべきです。

今後も継続して実施します。

住民と協議し、支援が必要な人には、近所や地域コミセン、振興会などが核となって迅速に対応できるような仕組みを考えます。

③個人が持つ方がいいのか、多くが集まる場所で活用した方が、良いのかと思います。

④2ヵ所は自家発電機があります。

公共性の話なので、業者と協議します。

⑤防災計画は見直す方向で準備を進めています。

問 新たな起業化支援を
答 前向きな挑戦を応援

質問

現在の起業化支援策は大きな経済効果を生んできました。

商品開発や事業試験・調査、知的財産など新たな起業化支援策を創設して事業意欲を喚起してはいかがですか。

町長

前向きに挑戦する人・団体の応援を取り組んでいます。

商品開発や知的価値を高めるなど、産業振興や観光など町でも支援策があります。

問 福祉灯油の支給は
答 支給予定

質問

灯油やガソリンの価格が上がり、町民生活に大きな負担です。

道の補助金を活用し、福祉灯油を支給しませんか。

町長

保健福祉課で「生活支援支給費助成事業」として、給付準備中です。

総務文教常任委員会所管事務調査報告

本町の普通財産の管理状況と、処分状況について

◎調査日

平成30年10月18日

◎調査内容

普通財産の状況について担当課長より管理、処分、今後の予定等の説明を受け、意見交換を行い、現地の視察を行った。

貸付は貸付基準に基づき適正な事務処理が行われていた。

町内会館は現在23件の施設を管理している。また、「人づくり地域づくり支援事業補助金」を活用し、本年度は5つの町内会より申請があり、実施している。

そして会館1件の寄付を受けている。

処分の状況は主にプロポーザル方式で行われており、中心市街地に3か所、その他に2か所があり、いずれも工業、商業関係者で、個別打ち合わせ中である。

◎調査の意見

町内会館は少なくなっているが、地域住民が気兼ねなく利用できる大切な場所で、多くの会館は築年数が経過しており、経年劣化が目立つ状況で、外観も含めて良い状態を保つため、修繕等に対する補助は維持管理に欠かせない事業である。

今年度は1件の会館の寄付を受けたが、今後も建物の返還や寄付もあると思われる、適正に維持管理されていれば利用価値も上がることから、現在の補助上限を上げるなど、積極的に取り組むべきと考える。

財産の処分は、町の発展や有効利用、財源の確保の観点からも重要ではあるが、町の貴重な財産でもあり、慎重に検討するべきである。

今回の5件はいずれも個別打ち合わせ中であるが、事業計画はもとより将来性などを十分に精査し進めるべきである。

また、企業の場合は騒音問題や環境問題に配慮し、近隣住民の理解は不可欠と考える。

西2号北4線中山遊水公園北側

南町2丁目の町有地

委員会報告

産業建設常任委員会所管事務調査報告

◎調査日

平成30年9月20日

◎調査内容

1 観光客の入込み状況等について

2 いきいき農園整備事業の状況について

3 中山遊水池ふれあい公園整備事業の状況について（事業次年度に延期）

4 忠別ダム林間親水広場整備事業の状況について

◎調査の意見

観光客の入込み状況は、外国人観光客を始めキトウシ森林公園、道の駅の入込みは順調に伸びている状況であるが、温泉地区については横ばい状況であり、国内外に対しては更なる誘客活動が必要と考える。天人峡は羽衣の滝への遊歩道が開通し次年度以降期待できるものの、特に冬期間の入込み対策をさらに検討すべきである。

道の駅では、他の道の駅とは違った特色を出せるよう工夫しながら、地元特産品を中心に販売していくことであるが、年間50万人の来館者があり農産物の売上も32・2％あることから、地元の物を地元で購入できるシステムづくりが必要であると考える。

いきいき農園整備事業は、特産品の開発と生産及び高齢者等いきがい対策、就労先の確保を目的とした事業であることから、目的に添った事業となるよう期待するところである。

忠別ダム林間親水広場整備事業は、フクロウ池の場所が分かりにくい状況であり、親水広場の入り口にゲートがあり折角トイレも備えた公園となっているにも関わらず利用されにくい施設となっていることから、七色の虹が見える展望デッキのPR及び看板の設置等、関係機関と連携を図り多くの方が訪れる施設として期待する。

いきいき農園ぶどう畑

ふくろう池の7色の噴水
（忠別ダム親水広場）

委員会報告

産業建設常任委員会所管事務調査報告

◎調査日

平成30年10月11日～12日

◎調査内容

ニセコ町

外国人観光客の動向と現状、取り組み、対応について

洞爺湖町

外国人観光客の動向と状況と取り組み、国内観光客の状況について

伊達市（道の駅）

道の駅の入込み状況、地元農産物等の取扱い状況、今後の改善策等について

◎調査の意見

本町の外国人観光客（宿泊客）の現状は年間10876人であり、今回調査を実施したニセコ観光圏、洞爺湖町とは比較にならない。

DMO（官民などの幅広い連携によって地域観光を積極的に推進する法人組織）があちこちで言われているが、大枠の観光圏も良いが、逆に東川にある観光をもっと磨きアピールすべきと考える。

ジオパークが意外と外国人観光客に人気があることが洞爺湖町の取り組みで明らかとなり、東川町と美瑛町でのジオパーク（大雪山連邦と十勝岳連峰）の取り組みも魅力があるのではないかと感じた。

両町とも観光課がしっかり配置しており、説明や資料からも戦略がしっかり練られているように伺えた。

伊達市（道の駅）の実現は、その発想力と経営力にあったと考える。

地元の農産物を地元に提供するというシンプルな発想で、それが農家の収入を増やし、やる気を生み、出店し販売することで単独で収入が得られる道を切り拓いたことが成功している。

そこには大きな行政のバックアップがあり、それを十分に活かした取り組みである。

本町の道の駅には50万人を超える来館者がおり、農産物の販売は今求められている機能であり、実現に向けて今後検討し取り組むべきと考える。

ニセコ町

洞爺湖町

伊達市（道の駅）

委員会報告

議会運営委員会所管事務調査報告

議会基本条例の制定について　（訓子府町）

議会改革の経緯、議会報編集特別委員会の常任委員会化について　（斜里町）

◎調査日

平成30年10月29～30日

◎調査内容

訓子府町

訓子府町議会では議会活性化の取り組みを平成19年より進められていたが、なかなか成果が表れないことから平成27年に、これまでの議論を踏まえ、より具体的な課題と取り組みの協議を行った。開かれた信頼される議会と町民の福祉向上を目的とし、議会基本条例を進めている。

基本条例は、議員活動の在り方、議会と町の関係、情報公開や、町民参加の推進などを柱にしている。

現在は、町民懇談会や、反問権の導入、議会モニター制度、アドバイザーの導入などで、住民参加による議会活性化に積極的に取り組んでいる。

斜里町

斜里町議会では平成24年に斜里町自治基本条例が制定され、議会改革を進めている。

社会情勢を踏まえ、定数や報酬、議会活性化、議員の資質向上などを目標とし、通年議会や、議会モニター制、議会サポーター制を実施している。

議会報では特別委員会ではなく、常任委員会として負担の軽減を図っている。

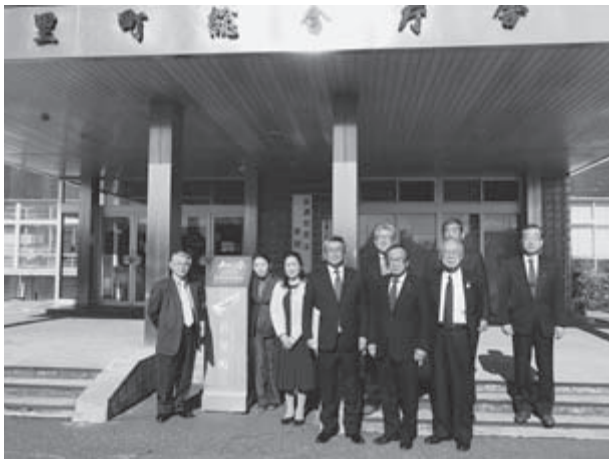
◎調査の意見

議会基本条例では、オホーツク管内の町村で多く制定されている。

本町でも議会改革特別委員会において検討されたが、東川町まちづくり基本条例をもとにする議会運営と、新たに議会基本条例を制定すべきなどの意見があった。

弾力的に運用が出来うる内容として、議会の決意を表す意味でも、また、両町で導入されている議会モニター制度と合わせて今後検討を進めるべきと感じた。

訓子府町



斜里町

（平成 30 年 10 月 5 日）

議　決　の　内　容	結　果
・302,027千円を増額し、総額8,876,002千円とする	原案可決

（平成 30 年 11 月 26 日）

議　決　の　内　容	結　果
・66,068千円を増額し、総額8,942,070千円とする ・5,552千円を増額し、総額220,752千円とする ・2,745千円を増額し、総額439,791千円とする	原案可決 〃 〃
・人事院勧告に基づく勤勉手当支給率及び給料表の改正に伴う条例の改正 ・人事院勧告に基づく期末手当支給率の改正に伴う条例の改正 ・　〃	原案可決 〃 〃
・幌倉沼川災害復旧工事１工区請負契約（契約金額62,640千円）	原案可決
・ロシア連邦サハリン州・アニワ市に高橋議員、正満議員を派遣する	原案可決

（平成 30 年 12 月 13 日）

議　決　の　内　容	結　果
・186,911千円を減額し、総額8,755,159千円とする	原案可決
・老人保健センター改修に伴う室名変更による使用料の改正及び施設名を「東川シニアセンター」へ改名する改正及びその他公共施設11条例の「老人クラブ」を「シニアクラブ」に改正 ・キトウシパークゴルフ場の使用料の改正 ・親水河川パークゴルフ場の使用料の改正 ・10株（10,000円）以上の投資を行ったものを株主とする改正 ・国における制度において、未婚のひとり親について保育料の算定上で寡婦(寡夫)とみなすよう変更されたことに伴う改正 ・保育料について１号認定こどもの非課税世帯は所得割が非課税であれば非課税世帯とし、同様にひとり親等で非課税世帯となっている１号認定子どもを１子目より０円とする改正 ・国における制度において、未婚のひとり親について保育料の算定上で寡婦(寡夫)とみなすよう変更されたことに伴う改正 ・放課後児童支援員の資格要件を定める政省令の改正により、大学を卒業した者に加え、専門職大学の前期課程を修了した者を含む改正 ・国における制度において、未婚のひとり親について保育料の算定上で寡婦(寡夫)とみなすよう変更されたことに伴う改正 ・子ども・子育て支援法施行令等の改正により学童保育料算定の際ふるさと納税等の税額控除を除く改正、地方税法の改正により政令指定都市住民の保育料が高くならないよう改正前の税率で算出する改正	原案可決 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃
・消防功労表彰８名（林　克政氏、馬場伸二氏、畑中貴樹氏、中田博之氏、宮﨑充嗣氏、藤川晴貴氏、佐竹国広氏、堀部祥広氏）	原案同意
・共同利用型戸籍システムを採用し、戸籍に係る電子情報処理組織の事務の管理及び執行を代表町の蘭越町に委託することから、規定を定めるための協議をすることについて ・旭岳温泉地区飲雑用水施設の指定管理者を湧駒別共同飲雑用水利用組合に指定 ・㈱廣済堂所有の山林の取得	原案可決 〃 〃
・交通事故に伴う損害賠償についての報告	報　告　済
・藤倉智恵子議員より、意見書について趣旨説明	原案可決
・総務文教常任委員会委員長より、調査活動の結果について報告 ・産業建設常任委員会委員長より、調査活動の結果について報告 ・　〃 ・議会運営委員会委員長より、調査活動の結果について報告	報　告　済 〃 〃 〃
・総務文教・産業建設・議会運営の各委員長からの申し出	原案可決

議　件　名
４）その他　（ア）外国人介護福祉人材育成支援協議会の設立について （イ）インドネシア大使夫妻の来町について （ウ）廣済堂ベトナム日本語学校との連携について （エ）鹿児島県大崎町との事業連携について （オ）映画「写真甲子園0.5秒の夏」海外上映等について （カ）牙王物語の発刊と今後の観光振興について （キ）高額寄附の受領について

第５回臨時会の議案審議結果

区　分	議　　件　　名
補正予算	・平成30年度　東川町一般会計補正予算（第６号）について

第６回臨時会の議案審議結果

区　分	議　　件　　名
補正予算	・平成30年度　東川町一般会計補正予算（第７号）について ・平成30年度　東川町公共下水道事業特別会計補正予算（第２号）について ・平成30年度　国民健康保険東川町立診療所特別会計補正予算（第２号）について
条　　例	・職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について ・議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について ・特別職の職員で常勤のものの給料及び旅費支給条例の一部を改正する条例の制定について
その他案件	・幌倉沼川災害復旧工事１工区請負契約について
そ の 他	・議員派遣について

第４回定例会の議案審議結果

区　分	議　　件　　名
補正予算	・平成30年度　東川町一般会計補正予算（第８号）について
条　　例	・東川町老人保健センター設置に関する条例等の一部を改正する条例の制定について ・東川町キトウシ森林公園家族旅行村条例の一部を改正する条例の制定について ・東川町立公園条例の一部を改正する条例の制定について ・「写真の町」ひがしかわ株主条例の一部を改正する条例の制定について ・東川町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業に係る利用者負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について ・東川町幼児センター条例の一部を改正する条例の制定について ・東川町放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について ・東川町留守家庭学童保育料徴収条例の一部を改正する条例の制定について
人事案件	・被表彰者の推薦について
そ の 他 案　　件	・戸籍に係る電子情報処理組織の事務の委託について ・指定管理者の指定について ・土地の取得について
報　　告	・専決処分の報告について
意 見 書	・日米物品貿易協定交渉に関する意見書について
調査報告	・普通財産の状況等、普通財産の処分について ・観光客の入込み状況、いきいき農園整備事業の状況、忠別ダム林間親水広場整備事業の状況について ・外国人観光客の動向と現状、道の駅の入込み状況について ・議会基本条例の制定、議会改革の経緯、議会報編集特別委員会の常任委員会化について
そ の 他	・閉会中の所管事務等の調査の申し出

全員協議会の開催状況

区　　分	開　催　日	議　　件　　名
第６回全員協議会	平成30年11月12日	１）山林取得について ２）平成30年度投資的事業（辺地事業・延期事業等）について ３）旧文化交流館の活用について

議会日誌

11月

1～4日　全国町村監査委員研修会・道外視察研修(東京都)
8～9日　上川中央部市・町議会議長会正副議長研修会
　　(東神楽町)
12日　平成30年度学校給食・新米試食会
　　第6回全員協議会
13～14日　全道監査委員協議会研修会(札幌市)
19日　例月公金出納検査(東川町・大雪地区広域連合)
　　財政援助団体監査(生涯学習課)
20～22日　第61回町村議会議長全国大会等(東京都)
26日　東川町議会第6回臨時会
27日　定例会前各常任委員会
28日～12月1日　サハリン州アニワ市訪問

せんとぴゅあⅡ　図書館

せんとぴゅあⅡ　ショップ

12月

6日　第8回議会運営委員会
13日　東川町議会第4回定例会
　　東川町美しい風景づくり賞表彰式
19日　例月公金出納検査(東川町・大雪地区広域連合)

1月

3日　新春の集い
5日　東川消防団出初式
10日　議会報編集特別委員会(1回目)
13日　平成31年東川町成人式
16日　議会報編集特別委員会(2回目)
17日　例月公金出納検査(東川町・大雪地区広域連合)
　　上川町村議会議長会役員会(旭川市)
24日　議会報編集特別委員会(3回目)
25日　中央部市・町議会議長会定例会議(鷹栖町)
28日　東川町議会第1回臨時会
　　第1回全員協議会

せんとぴゅあⅡ　学習室